

MOT/BRI V3

USER'S GUIDE

取扱説明書



第 1. 0 版

株式会社バルテック

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

はじめに

本装置は、レガシーPBX や BRI を利用した PSTN 回線との接続、または、SIP 内線網における IP 外線キャリア接続、ISDN 外線網へ接続する為のゲートウェイです。

「MOT/BRI V3」は2つのモデルがあります。

「増設ゲートウェイ版」では NT/TE の増設ゲートウェイとして利用が可能です。

「キャリア版」では、増設ゲートウェイ版の機能に加え、IP 外線キャリアとの接続が可能です。

【キャリア版機能】

■ IP 外線ゲートウェイ機能

レガシーPBX から、IP キャリアが提供する IP 電話サービス網への接続を提供します。

本装置一台で、『25』通話を実現します。

対応キャリアは以下となります。

【対応キャリア】

- ・『ひかり電話（ひかり電話オフィスタ입、オフィスA）』
- ・『楽天 IP-Phone』、『B2BUA OpenGate（旧 FUSION IP-Phone）』

（※） KDDI サービスをご利用の際は、別途お問い合わせをお願いします。

【増設ゲートウェイ版、キャリア版 共通機能】

■ レガシーPBX への接続（増設用ゲートウェイ）機能

MOT/PBX が装備している BRI 回線数以上の接続、MOT/PBX M-V3 等 BRI 回線を装備していない装置において、レガシーPBX と接続を行う事が出来ます。最大 4 回線（8ch）のレガシーPBX 接続を提供します。

■ 増設ゲートウェイの管理機能

複数の機器にまたがって同一番号の管理や、複数台接続した装置が通話中であった場合に利用出来る回線を選択できる増設ゲートウェイ管理機能を提供します。

■ 一般公衆網（PSTN）ゲートウェイ機能

本装置に最大 4 回線の端末側 BRI 接続ポート（TE）を提供します。

このポートを利用する事で、INS64 等の ISDN 外線を IP-PBX の PSTN 外線として収容する事が出来ます。

目次

はじめに	1
1章 安全にお使いいただく為に	4
表示の意味	4
図記号の意味	4
商標について	5
免責事項について	5
設置について	8
2章 製品の説明	9
梱包品の確認	9
本体各部の名称と機能	10
機器前面の説明	10
機器背面の説明	10
MOT/BRI ポートランプ初期状態	11
MOT/BRI ポーRJ45 結線構成	11
機器の接続方法	12
3章 端末仕様	13
ハードウェア仕様	13
VoIP 機能仕様	15
保証書	17
保証期間中は	17
保証期間が過ぎているときは	17
保証の範囲	17




1 章 安全にお使いいただく為に

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための説明をしてあります。









ここに記載している事項は、安全に関わる重要な内容ですので、必ず守って下さい。

表示の意味

本章の説明では、いろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、“人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って想定される”内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

記号	意味	例
	この記号は注意を促す内容があることを告げるものです。	 注意（警告を含む）  指をはさまれないように注意
	この記号は行為を禁止する内容であることを告げるものです。	 禁止  分解禁止
	この記号は行為を強制する内容であることを告げるものです。	 電源ボタンをOFF にしてから電源プラグをコンセントから抜く

商標について

- ・INS ネット 1500、ダイヤルイン、i・ナンバーは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ・『Windows® 8.1、Windows® 10、Windows® 11』は 米国 Microsoft Corporation の商品名称または登録商標です。

免責事項について

- * 火災・地震等天災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- * 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- * 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- * 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- * 本機は、医療機器や幹線通信機器などの極めて高い安全性や信頼性が要求される用途に適用するようには設計されていません。誤って本機を使用した結果、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

本体の取扱いについて



警告



異常が起きたら

万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して弊社営業所またはサービス部門に修理をご依頼ください。



内部に異物や水を入れないで下さい

この機器の通風口などから内部に金属類や燃えやすいもの等を差し込んだり、おとしこんだりしないで下さい。また、花びんや水などの入った容器をこの機械の上に置かないで下さい。水がこぼれたり、中にはいった場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社営業所またはサービス部門へご連絡下さい。



海外では使用できません

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけないでください

コードが破損して、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードの上に重いものをのせない。
 - ・加工したり、傷つけたりしない。
 - ・無理に曲げたり、ねじったりしない。
 - ・加熱しない。熱器具に近付けない。
 - ・クギやステーブルなどで固定しない。
 - ・家具などを乗せてつぶさない。
 - ・電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張らない。必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）弊社営業所またはサービス部門に交換をご依頼ください。



配線工事は有資格者以外おこなわないでください

本装置とP B Xとの接続、配線工事、修理には、有資格者または、同等の能力をもった技術者が実施してください。誤った接続、配線を行うと火災、感電、故障の原因となります。



カバー、パネルは開けないでください

この機器のカバー、パネルは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は弊社営業所またはサービス部門にご依頼ください。



改造しないでください

火災や感電の原因となります。



注 意



接続前の注意

他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



指をはさまれないように注意

挿入口に指を入れないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。



適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。動作不良・火災・感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所
- ・湿気や埃の多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- ・直射日光が当たる場所
- ・可燃物(木製類・紙類)の傍、接触する場所



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



移動させるときは

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



長期間ご使用にならないとき

長期間、この装置をご使用にならないときは、安全のため必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は


安全のため電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

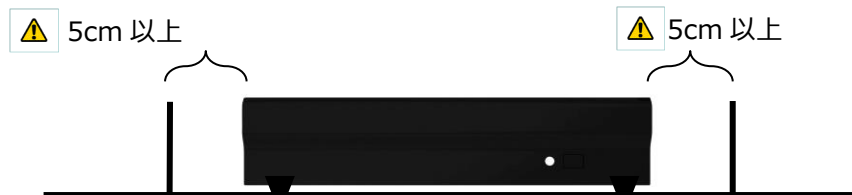
設置について

本装置は、横置き前提です。

設置の際は以下の点にご注意ください。

- ・WANのケーブルが届く事（3m以内推奨）
- ・LANのケーブルが届く事（3m以内推奨）
- ・電源ケーブルが届く事
- ・なるべく、ほこりがたまらない場所に設置してください。
- ・UPS等のノイズの原因となるものと電話機はなるべく離しておいてください。
- ・動作保証温度は0度から40度です。

【横置きの場合】  上部への重ね置きは行わない



本装置はファンレスとなっており、上部天版を介した自然放熱設計となっております。本装置のスタック（重ね置き）や上部へ物を置く事はも熱を持つ原因となりますので行わないでください。



また、側面には通風孔がございますので口を塞がないように、且つ空気のコもらない場所に設置して下さい。



稼働中のケーブルの抜き差しは、本装置の故障や誤動作の原因になる場合があります。電源を切ってから、作業を行ってください。



直射日光が当たる場所や、可燃物(木製類・紙類)の傍、接触する箇所への設置は絶対に行わないでください。

2章 製品の説明

本製品の説明、接続方法について説明します。

梱包品の確認

以下に本製品の梱包物一覧を記載します。

本装置をお使いになる前に同梱品が全て揃っているかをご確認ください。

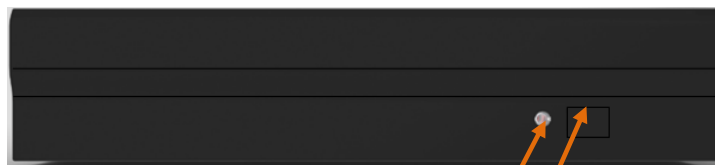
万一不足や破損しているものがある場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

梱包品一覧	
本体 (MOT/BRI V3)	1台
ACアダプタ	1本
電源ケーブル	1本
保証書	1枚

本体各部の名称と機能

本装置の前面と背面の各ランプ、ポートについての解説をします。

機器前面の説明

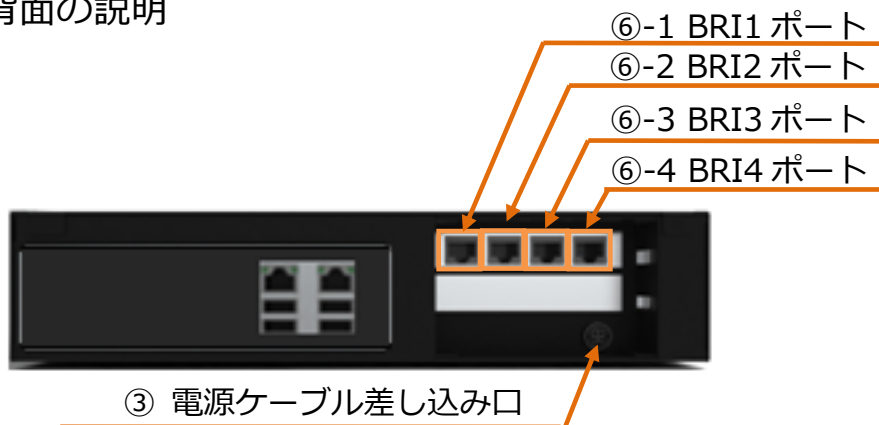


① POWER ランプ

② 電源スイッチ

	名称	詳細
①	POWER ランプ	点灯：電源が入っている状態です。 消灯：電源が入っていない状態です。
②	電源スイッチ	POWER ランプ点灯時に短押しで、装置を停止します。 POWER ランプ消灯時に長押しで強制停止します。 (本体稼働中強制停止を行うと機器破損の恐れがありますので、強制停止は行わないでください。) POWER ランプ消灯時に押しすと、装置を起動します。

機器背面の説明



⑧ 付属電源ケーブル



⑦ 付属 AC ケーブル



※その他のインターフェースは利用しません。

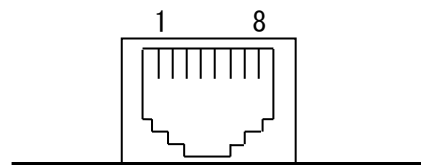
	名称	詳細
③	電源ケーブル差し込み口	付属の⑥電源ケーブルを接続します。
④	WAN ポート	Ethernet ケーブルを使用し、網側へ抜けるネットワークへ接続します。
⑤	LAN ポート	Ethernet ケーブルを使用し、プライベートネットワークへ接続します。
⑥	MOT/BRI ポート BRI1、2、3、4 ポート	MOT/PBX 主装置、およびルータ等の ISDN ポート、または PSTN 網 (INS64) に接続します。
⑦	付属 AC ケーブル	⑧と③にそれぞれ接続します。
⑧	付属電源ケーブル	⑦と接続し、AC100V 電源に接続します。

MOT/BRI ポートランプ初期状態

BRI ポートランプ		
BRI V3 (キャリア版)	BRI1	赤点滅
	BRI2	消灯
	BRI3	消灯
	BRI4	消灯
BRI V3 (増設版)	BRI1	赤点滅
	BRI2	赤点滅
	BRI3	赤点滅
	BRI4	赤点滅

MOT/BRI ポーRJ45 結線構成

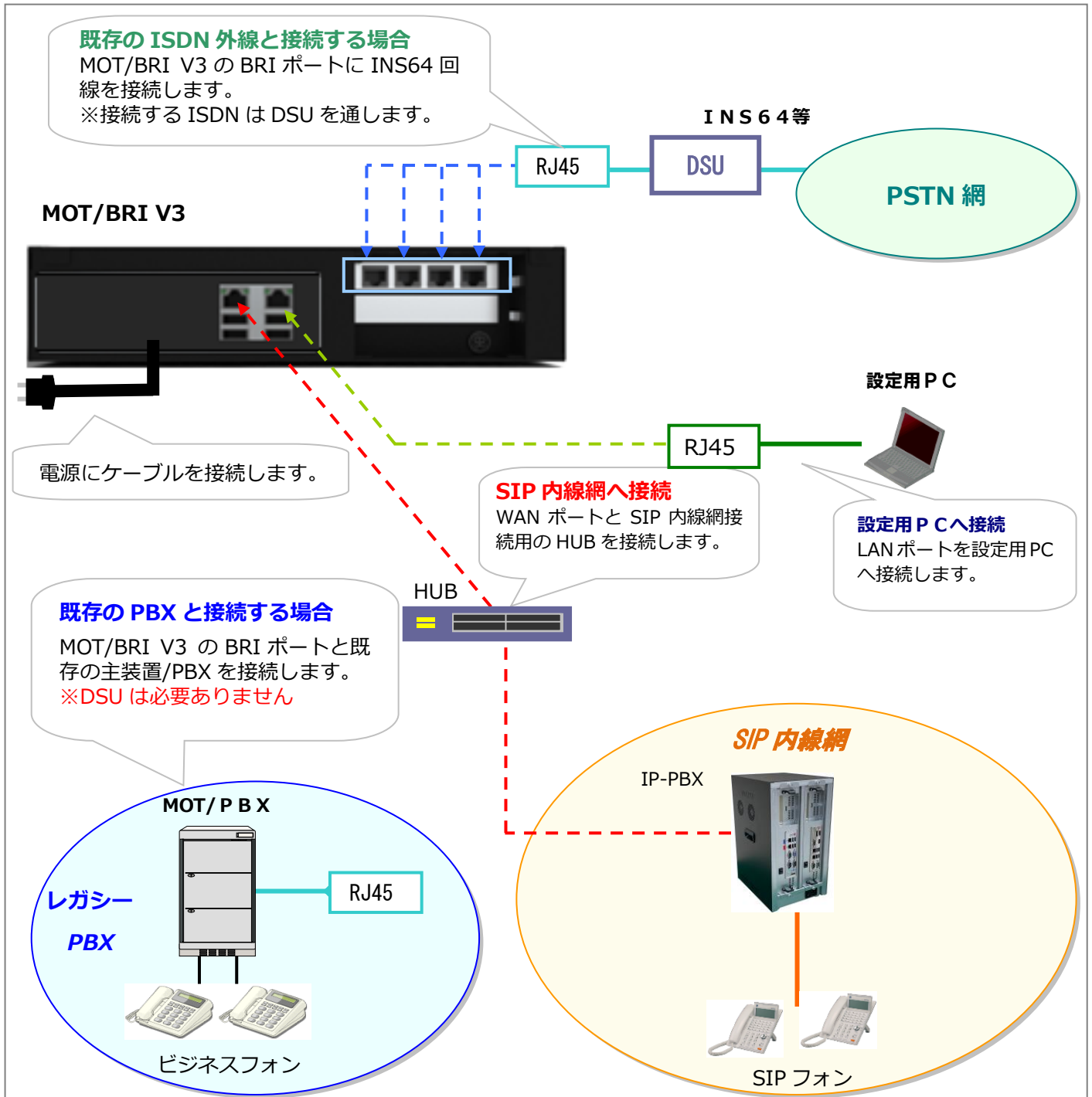
BRI インタフェース端子番号			
PinNO.	信号名	内 容	備 考
1			
2			
3	RA	受信データ+	
4	TA	送信データ+	
5	TB	受信データ-	
6	RB	送信データ-	
7			
8			



機器の接続方法

MOT/BRI V3 を下図のように接続します。

1. LAN ポートと SIP フォン接続用の HUB を接続します。
2. WAN ポートとインターネット終端装置を接続します。
3. ISDN 外線 (PSTN) と接続する場合は TE の MOT/BRI ポートに接続します。
4. レガシー-PBX (主装置) と接続する場合は NT の MOT/BRI ポートに接続します。



3章 端末仕様

ハードウェア仕様

装置名	機器名・型式	MOT/BRI V3	
ネットワーク インタフェース	LAN 側	ポート数	1
		規格	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
		コネクタ形状	RJ45
	WAN 側	ポート数	1
		規格	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
		コネクタ形状	RJ45
	その他	オートネゴシエーション	
準拠規格	IEEE 802.3 準拠		
ISDN インタフェース	JATE 認定番号	C13-0281001	
	BRI ポート 1～4	ポート数	BRI4 ポート(8ch)
		規格	TTC 標準 JT-I430
		コネクタ形状	RJ45 (ISO 標準 IS8877)
		給電機能	あり(給電の有無も設定可能) ※ピン設定
DSP 装備	なし(エコーキャンセル有)		
VCCI 対応	無し		
RoHS 対応	RoHS 対応		
表示機能	LED : 1 個 POWER 表示		
電源	外部 AC アダプタ利用 (PSE 認定)		
静音対策	ファンレス設計 (CPU,電源)、SATA DOM 利用		
入力電源、消費電力	84W(DC12V)		
定格電圧範囲	100～240 VAC		
周波数	50Hz～60Hz (The spec of AC Adaptor: 47Hz-63Hz)		
動作環境	周囲温度:0～40℃ 周囲湿度:20～80%【結露なきこと】		
保存環境	周囲温度: -20～80℃ 腐食性ガスなし		
本体外形寸法	280(W)×60 (L)×280(D)		
本体重量	AC と BRI を含む本体重量 : 4.4kg		

ソフトウェア仕様 <ゲートウェイ部>

データリンク層	PPP	RFC1332, RFC1661 準拠
	PAP	RFC1334 準拠
	CHAP	RFC1994 準拠
	IPCP	RFC1332
	PPPoE	RFC2516 準拠
ネットワーク層	IPv4	RFC791, RFC1812 準拠
	ICMP	RFC792 準拠
	ARP	RFC826 準拠
	IGMP	RFC2236 準拠
トランスポート層	TCP	RFC793 準拠
	UDP	RFC768 準拠
アプリケーション層	DNS	RFC1034, RFC1035 準拠
	DHCP	RFC2131 準拠
	NAT/NAPT	RFC1631, RFC2663 準拠
	HTTP	RFC2068 準拠(HTTP/1.1)
	STUN	RFC3489 準拠
	NTP	RFC1305 準拠
ISDN 機能	レイヤ2	TTC 標準 JT-Q921 準拠
	レイヤ3	TTC 標準 JT-Q931, JT-Q931-a 準拠 ※Q931-a は内部設定変更で利用可能

<ルータ系ソフトウェア仕様>

ルータ機能		IP フォワーディング
DHCP 機能	サーバ機能	LAN 側へ最高 253 アドレスを提供
	クライアント	WAN 側のアドレスを取得
PPPoE 機能	接続数	2 セッション
	接続	自動接続機能
	IP アドレス	IPCP で IP アドレスの割り付け
uPnP 機能	Internet Gateway Device	提供
	コントロールポイント	未提供
ARP テーブル数		最大 500 個
ルーティング機能		スタティックルーティング
ルーティングテーブル数		最大 100 個
STUN 機能		提供
DNS 機能		Proxy DNS のみ
IP フィルター機能	INPUT	デフォルトで Forwarding を停止。プロトコル, Src Addr, Dst Addr, Src Port, Dst Port で通過を指定可能。
	OUTPUT	デフォルトで Forwarding を実行。プロトコル, Src Addr, Dst Addr, Src Port, Dst Port で遮断を指定可能。
	最大 100 ルール	
NAT/NAPT 機能		プロトコル, 対象ポート, 変更アドレス, 変更ポートを設定可能
		最大 100 ルール
QoS 機能		VoIP パケットの優先制御

VoIP 機能仕様

SIP 機能	UAC/UAS, RFC3261, RFC3264 準拠 (一部未対応あり)
音声送信	RTP/RTCP RFC1889 準拠
符号化方式	G.711 μ Law
DTMF	透過、もしくは RFC2833 対応 (RFC2833 は対応予定)
エコーキャンセラ	近端エコーキャンセラ
音量調整機能	送出・受信音量の調節可能
ポートに登録できる番号数	最大 1000(最大件数を超えない範囲で)
一台に登録できる番号数	最大 1000
最大レジスタ出来る番号数	最大 500
局番省略機能	対応
代表着信	対応
バージョンアップ方法	自動
	手動(ファイル/サーバアクセス)

ISDN インタフェース機能仕様

BRI インタフェース (<u>NTモード</u>)	INS64 対応ビジネスフォンを直接接続可能
	P-MP 対応（常時接続、呼別接続）、P-P 対応 ※TEI 6 4～は MP、TEI 0 は P-P に設定が必要です。
	レガシー側着信時の着信回線順選択
	ナンバーディスプレイ
	ダイヤルイン着信
	着番号透過
	着サブアドレス送信
	発番号変換機能 着番号変換機能
BRI インタフェース (<u>TEモード</u>)	NTT INS64 回線を収容
	P-MP 対応（常時接続、呼別接続）、P-P 対応 ※TEI 6 4～は MP、TEI 0 は P-P に設定が必要です。
	ISDN 回線へ発信時の着信回線順選択
	ナンバーディスプレイ
	ダイヤルイン着信
	i・ナンバー対応
	着番号透過
	発着サブアドレス送信
	迂回番号の設定
	迂回プリフィックスの設定
	VoIP エラー時の迂回発信
	発着信番号通知対応 外線番号毎の鳴動分け

保障とサポート

故障・診断などのご相談は、販売元へお問い合わせください。

保証書

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ず確かめ、保管してください。

保証期間 : **お買い上げ日から本体 1 年間**

保証期間中は

保証書の範囲に従って修理・修復、または故障内容によっては同等製品と交換をさせていただきます。

恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご送付ください。

ただし、保証期間内でも次の場合には有償修理となります。

- ・使用上の誤り、または不当な修理や改造などによる故障・損傷
- ・落下などによる故障・損傷
- ・火災、地震、落雷その他の天災地変などによる故障・損傷

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

なお、故障内容によっては修理にかえ同等製品と交換をさせていただきます。

ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後1年です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

保証の範囲

保証の範囲は本製品に限ります。次のような場合は責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 本製品の使用によって生じたデータ及びプログラムの消失及び損傷。
2. 本製品の使用によって生じた、いかなる二次的損出やその他の異常。
3. 当社の責任によらない製品の障害または改造による故障。

ご質問・お問い合わせは

本装置に関する技術的なお問い合わせは以下までご連絡ください。

サポートセンター窓口

TEL : **0120-664-024**

受付時間: 9:00~17:30 (土日・祝日を除く)

Webでのお問い合わせページ

URL:<http://www.webjapan.co.jp/>

MOT/BRI V3 取扱説明書

2022年8月23日 第1.0版

株式会社バルテック